

令和5年9月15日

茨城県立つくば看護専門学校  
学校長 山下 美智子 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 渡葉 葉月

### 学校関係者評価委員会報告

令和4年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 渡邊 葉月 (公益財団法人筑波メディカルセンター筑波メディカルセンター病院 副看護部長)
- ② 小泉 知子 (筑波大学附属病院 副看護部長)
- ③ 伊東 香 (公益財団法人筑波メディカルセンター 訪問看護ステーションいしげ 管理者)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和5年9月12日(会場 茨城県立つくば看護専門学校 会議室)

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

## I 各評価項目について

評価項目	評価内容
I 学校経営	カリキュラム改正に対応した中長期ビジョン、年間事業計画が策定され、マネジメントサイクルをまわしていることは高く評価できる。教職員が会議等で情報の共有を図り、学生の教育が検討されていることは適切である。今後、働き方改革の観点からもそれら会議が効率的・効果的に開催されるよう検討されることが望まれる。また、社会的な要請に応えた学校独自のカラーを出すことができるよう、積極的に外部意見を取り入れる方法を検討されることを期待する。
II 教育課程 教育活動	ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを策定し、教育活動が展開されていることは評価できる。3つのポリシーを踏まえながら、今後、教育の改善に向けたPDCAサイクルが機能するとさらに良い。また、実習におけるインシデントについては学校内で共有できる方法を検討するとよい。
III 入学・ 卒業対策	18歳人口の減少を受け、学生数を確保するための対策がとられていることは評価できる。国家試験合格率、就職率は100%と高値であり、さらに、退学率は全国平均より低く、教職員の学生支援は秀でている。
IV 学生生活 への支援	学生生活の支援をするため、校医やカウンセラーと連携し対応している。また、支援について学生の満足度調査を実施し、結果から対策を講じており適切である。
V 管理運営 財政	個人情報保護はなされているが、その安全性や管理方法に関しては、社会情勢の変化に合わせ検討が必要である。近年の物価高、燃料費の高騰に対し、節電対策など対応がなされ努力がされていることは評価できる。
VI 施設設備	学生が学習するための教材や図書は整備されている。ダイバーシティ実現のため、施設・設備の見直しを検討することが望ましい。
VII 教職員の 育成	教職員が研鑽するための制度は整っており、適切である。個々の学びを共有するためのしくみが活性化されると更に良い。また、教員間で講義・演習に対する意見交換などを行い、講義や演習の精度を高められることを期待したい。
VIII 広報	学生の声を反映し、ホームページやインスタグラム等 SNS を活用した広報活動がされ、随時更新もなされており良好である。
IX 地域との 連携	地域への出前講義は積極的に行われており評価できる。新カリキュラムでは地域の要請に対応する内容になっているため、地域との連携を今まで以上に図ることを期待する。

## II その他

教職員が最終評価の場に参加し、評価内容を共有されたことは高く評価できる。